



# e.Typist v.9.0 基本操作

目次

		ページ
1.	はじめに	• • • • • • 2
2.	e.Typist の起動	• • • • • • 3
З.	スキャナの設定	• • • • • • 4
4.	原稿の取り込み 41. スキャナから 42. ファイルから	· · · · · · 6 · · · · · · 6 · · · · · 7
5.	画像の修正	8
6. 7.	認 識 の 設 定 ☆ 日 本 語 以 外 の 文 書 を 認 識 す る 認 識 範 囲 の 設 定	· · · · · · 9 · · · · · · 9 · · · · · 10
	7-1. 自動で設定 7-2. 手動で設定 ☆レイアウト枠の表示	• • • • • 10 • • • • • 10 • • • • 10
8.	認識	• • • • • 1 1
9.	データ転送	••••12
作業	例1. 罫線の入っていない表の認識	• • • • • 1 3

作業例 2. 少し複雑な表の認識 ・・・・・16

### 1. はじめに

表原稿を認識する場合には、次のことに気をつけてください。

- ・罫線と文字が近すぎないか
- →「接触罫線除去機能」によってある程度の認識は可能ですが 認識結果に影響を与えます。
- ・部分的なセル結合・分割など、複雑な表でないか
- →文字の認識に影響を与えることがあり、また表の再現が難しくなります。
- ・網掛けが入っていないか
  - →「ノイズ除去」では除去しきれずに、誤認識の原因となります。また、網掛けと 一緒に文字まで除去されてしまう場合もあります。

e.Typist v.9.0 では、取り込んだ表のセル幅や高さをそのまま全く同じ形で再現する事はできません。"ひな形ができる"程度にお考えください。

履歴書、申請書、納品書等に文字を入力し、印刷する事が目的であれば 「ピタッとフォーム」や「やさしく PDF へ文字入力」がぴったりです!

「ピタッとフォーム」や「やさしく PDF へ文字入力」であれば、スキャナから取り込んだ書類に文字を入力してそのまま印刷することが可能です。



弊社ホームページに30日間お 試し頂ける体験版をご用意して おります。 是非、ご利用ください。 http://mediadrive.jp



# 2. e.Typist の起動

「スタート」ボタンから「(すべての) プログラム」→「e.Typist v.9.0」→「e.Typist v.9.0」 を選択します。



上記は Windows XP の画面になります。

e.Typist v.9.0 を起動すると下記の「やさしくナビ」が表示される場合、右下の「閉じる」 をクリックし閉じてください。



# 3. スキャナの設定

スキャナドライバの選択 CanoScan 5000/5000F v. 75 ▼ 大キャナメーカーの Twainインターフェースを使用しない ドロングレル

「ツール(T)」メニューから「スキャナ設定(S)」を選択します。

「スキャナドライバの選択」ダイアログが表 示されますので、お使いのスキャナドライバ を選択し、クリックしてください。

※ 選択画面に表示する名称はお使いの環境 によって変わります。

お使いのスキャナによってはチェックが付 けられないものがあります。

- ※ チェックが入らない場合には
  - スキャナメーカーの取り込みパネルをお 使い頂きます。
- ※ チェックの付けられるスキャナについては弊社ホームページ e.Typist v.9.0 のページより「専用スキャンユーティリティ 5 対応スキャナ」にてご確認頂けます。また、動作確認済みのスキャナも同ページにてご確認頂けます。
   対応スキャナページ: http://pac.mediadrive.jp/support/et/et90w\_scanner.html

「スキャナメーカーの Twain インターフェースを使用しない」にチェックを付けると、 スキャナから画像を読み取る際には下記の専用パネルが表示されます。

スキャナ取り込み:[CanoScan 5000/5000F]	×
スキャナ取り込み:[CanoScan 5000/5000F]	× 5 9 9 1 10 スキャンパネル ] 濃度設定 ] 登録/呼出 ] スキャン方式(M) 通常スキャン ▼ スキャンタイプ(D) モノクロ ▼ 解像度(DPD 400 ▼ 濃度(M) 自動 ▼ 二、スキャン(S) 一 濃度(M) 自動 ▼ 二、スキャン(S) 一 二225(売() 128(売()) - 1225(売() 128(売()))
	- スキャン範囲(L) - ジーズ 型 ケ ✓ 型 型 単位: mm No 分類 左 上 幅 高さ 0 原稿台 0.0 0.0 216.0 297.0
	間欠スキャン設定       スキャン回放(Q)       5日       メキャン正動遅延形数(B)       5日       間隔秒数(Q)       5日

√「スキャナメーカーの Twain インターフェースを使用しない」にチェックが入らない 場合は、以下のようにスキャナメーカーの取り込みパネルが表示されます。

Canon 社創複合機の場合	-DX
	基本モード
	原稿の入力部
	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
	西部の読み取り     正部の読み取り     正部の読み取り     正部の読み取り     正部の読み取り
	マルチスキャン(00)>>
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
拡張モード(V)のボタンを押す	と、さらに細かく設定が行えます。
A カラー	🗰 300 dpi 💼 21.57 💼 29.71 🔘 25.58 MB 🏑
EDSON 社制フキャナの	
EFSON Scan	
─ 設定保存	モードによって設定できる項目が
	■ 【保存公】   削除(D)
原稿設定	
原稿種☆: 反射原稿	
取込装置(山): 原稿台	
自動露出公: 写真向き	×
出力設定	
イメージタイプ型: 24bit カラー	-
解像度(止): 300	▼ dpi
<u>+</u> 出力サイズ(Z): 等倍	
調整	
	9tzyh
+ 🔽 アンシャープマスクフィルタ低)	<b>T</b>
	24++>(5)
ヘルプ(日) 環境設	定(0) 閉じる(0)

- <u>4-1. スキャナから</u>
  - スキャナボタン ジャナ をクリックすると、スキャナの取り込み画面が表示されます。
    - (弊社専用パネル以外の操作方法については各スキャナメーカーの操作説明書をご参照くだ さい)
    - ●スキャンタイプは原稿にあわせて選んでください。
    - ●解像度は通常「400」または「300」に設定しておき、認識制度が悪い場合、原稿の 文字が小さい場合は「600」で読み込んでください。
    - ※ 新聞や雑誌などをスキャンする際は、裏写りに注意して濃度を調整してください。 専用パネルの場合には、濃度を「ユーザー設定」に変更することで濃度調整のスライ ドバーを使った調整が可能となります。
    - ※ カラースキャンを行うとファイルサイズが大きくなり、表示に時間がかかることがあります。
  - 取り込み画面を閉じると、e.Typist上に読み込んだ画像が表示されます。

Ge e Typist - スキャナ001	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 画像リスト(L) 文字認識(R) 解析(K) (	ツール(① ヘルプ(出)
・      ・     ・     ・     ・ </th <th>新規 💌 🏭 🍨 🏥 📑 號 🗔 枠 🌵</th>	新規 💌 🏭 🍨 🏥 📑 號 🗔 枠 🌵
画像リスト × 🖳 スキャナ001	
■ サムネイル 目 リスト   節囲設定 💽 🍾 🥬 😌 🛄	
10 金融工作       10 金融工作	
ヘルプを表示するには [F1] を押してください。	🔝 400 Dpi 🗇 USRPAT90.UPT ///

<u>4-2. ファイルから</u>

メニューバーの「ファイル」から「画像ファイルを開く」で開きたいファイルを指定し ます。

e.Typist で開くことの出来る画像は下記の通りです。

BMP・TIFF (非圧縮/Huffman/Packbits/G3/G4 各圧縮形式のシングル・マルチページ)・ JPEG・PNG・PDF

😠 原稿の向きは正しいですか?

※原稿の向きが正しくないと、認識の結果も正しく表示されません。 横向きの原稿を取り込んだ時には、画像の回転が必要です。 回転ボタン ◆ を使って正しい向きにしてください。

範囲設	定	•	1/4	ø		Ð			[ 파송 다양	₽ <mark>2</mark> ↓	
							左90度				
							右90度				
					Г	-	180度		-		-
ш	影						自動補正				
6	η <del>μ</del> ι						手動補正…				
2 (							見開き手動	浦正…			$\vdash$
m	副部						選択範囲の	)補正	1	<b>.</b> .	-
<u> </u>	12				4	in I	<b>*</b> 0	-	2	5	-
	_										

下図のような場合には右90度を選択すると正しい向きになります。

🖌 原稿の状態は良好ですか?

※取り込んだ文字がはっきりと読める状態でないと、正しく認識できません。 下図のような場合には、濃度を調整しながら再度スキャンし直してください。

濃度が薄い

濃度が濃い

下地の色が濃い

ファイリング5は、書類や	82	-102.5	257.5	描画中にもワンタッラ
-2- O-10-10-1-21-21-21	86	-98.5	258	La a my Langelin A
ノロメロや衣面がフィト、	97	-87.5	263.2	線の端点形状をパレ
管理することができます。-	107	-77.5	263.1	設定が可能
The reason of the second se	100 0	100	0.01	DX AL IN TINC

カラーやグレースケールでスキャンする場合 ※裏写り、下地・文字の色が文字認識に影響を与える場合があります。 また、モノクロと比べファイルサイズが大きくなり表示にも時間がかかります。

#### 裏写り

下地と文字の色が近い

業の屋台骨をつくっ	連なぜ
り役員の多くはそう	op N

# 5. 画像の修正

取り込んだ画像にゴミのようなものが入っている場合や、白抜きの文字を認識させたい 場合は

画像修正を行います。



範囲設定をクリックし「画像修正」を選択します。

画像ウインドウのツールバーのボタンが下記のように変わります。

🔲 🗰 🖉 🥥 🙀 🔤 💀 🥳

★原稿のゴミを消す	
ノイズ除去 🥳 ボタン	を押すと、下記のように項目が表示されます。
	ノイズを除去するレベルを選択してください。
ノイズ除去(自動)	ノイズ除去でもきれいにならない場合には、消しゴム 🥥
ノイズ除去(弱)	ボタンを使ってゴミを消してください。
ノイズ除去(中)	※ノイズ除去機能は <u>モノクロ</u> でスキャンした時のみ使用でき
ノイズ除去(強)	ます。カラー、グレースケールでスキャンしたときは、
	消しゴムボタンでの削除となります。
※原稿の状態によって	ては文字まで除去されてしまう場合がありますのでご注意
ください。	
★白黒を反転する	
下図のような白抜きな	て字の状態では認識ができません。
活用の幅が	この部分を「範囲設定」ツールで囲みます。
活用の幅が	この状態で「白黒反転」ボタン 🎦 をクリックします。
活用の幅が	このようになりました。これで認識が可能になります。
※ <u>モノクロ</u> でスキャ	マンした時のみ使用できます。

●画像の修正が終わったら「画像修正」を「範囲設定」に戻してください。

# 6. 認識の設定

レイアウト枠を作る前に設定を行うと、全ての範囲が同じ条件で設定されます。 レイアウト枠を作った後に設定を行うと、それぞれの枠に対して設定をすることができ ます。

画面右上の属性ツールバー 🏭 💿 🌉 📑 📰 📑 🏘 📌 で各設定を行います。

#### ☆ 日本語以外の文書を認識する

e.Typist v.9.0 では、日本語・英語の他にドイツ語、フランス語など計 13 カ国語に対応しています。認識させたい原稿にあわせて「認識言語」を設定してください。

▶ ボタンをクリックすると、下図のように表示されますので「英語」を選択します。



「英語」をクリックすると 💿 (日の丸)となっていたボタンが 💴 (星条旗)に変わります。

### 7. 認識範囲の設定

表原稿の場合、表の種類によってはレイアウト解析が正確にできない事があります。 通常、縦・横が罫線できちんと区切られている表の場合は自動で設定することができま すが、縦・横が罫線で区切られていない表や罫線が欠けている表、自動でレイアウト枠 が正しく設定できないものは手動でレイアウト枠の設定を行ってください。

#### 7-1. 自動で設定



<u>7-2. 手動で設定</u>



認識したい表部分をマウスでドラッグして囲みます。 囲った範囲にレイアウト解析が行われます。

#### ☆レイアウト枠の表示

レイアウト枠を作成すると、下図のような表示がつきます。この表示によって、そ れぞれの枠がどのように設定されているのか確認することが出来ます。

1

この表示を確認し、間違って設定されている枠があれば設定を変更してください。 なお、認識領域番号表示ボタン [4] で表示させる・させないの変更が可能です。 ※一般的な表原稿の場合、段組の指定は「横多段 #] 」としてください。

### 8. 認識

認識ボタン

認識が終わると、取り込んだ原稿イメージと認識結果の二つに画面が左右に分かれます。

🔒 e.Typist - TEXT							- 🗆 🗵
ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	検索(S) 画像リスト(L)	〉 文字認識(B) 解	祈心 ツール	Ē	ヘルプ(円)		
→-ト · 2+++J ·	レイアウト 認識	1000 日本 1111日 日本 1111日 1111日 日本 1111日 日本 1111日 1111日 日本 1111日 日 1111日 日 1111日 1111日 日 1111日 日 1111日 1111日 1111日 1111日 1111日 1111日 1111日 1111日 11111日 1111日 1111日 11111日 11111日 1111日 11111日 111111	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	新規	•	# = = =	5A 17 №
画像JJ入ト ×	No. TEXT		- U ×		スキャナ001		- I X
2 サムネイル 目 リスト	認識結果	옥, 😪   🚧	🔛 📑 🛛	<b>F</b>	取り込んだ原	見稿 🔰 🔎 🗧	•
	【市場調査報会	ب <b>(</b> ŧ	<u>^</u>		1 🗶 💿 🛙 🕅	<b>与</b> 】	<u> </u>
- 50, 1111					3		台数
	収益モニク		2. 1		液晶モニタ		2,5
The local	くま エデイスプレイ		3. (		CRTディスプレイ		3,0
スキャナ001	ブリンク		6,:		プリンタ		6,1
		ドットマトリックス	2			ドットマトリックス	1
		インクジェット	4, 6			インクジェット	4,0
		~ = 3	<u>L(</u>		Sec. 10. 10. 10.	ベージ	1,0
		WFP			The second second second	MFP	
	「新庄ディスク装置		14.1		固定ディスク装置	o c 201 - b Mit	14,5
		3.5型米酒	\$,.			3.5型未満	0,6
		3.5型K上	9,0		ルニティフカポンの	3.0里以子.	9,0
	<u>x 7 7 2 9 20 E</u>		18, 1		九アイヘン酸塩	可告诉田利	10,0
		神王寺历堂 道武·姜桂母	2 .			治記·零播型	2.5
	イメージスチャナ		8.3		イメージスキャナ	VE100 23 19625	2.1
		フラットペッド	2,1			フラットベッド	2,5
		シートフィード	•			シートフィード	
						フィルム	
	) 💌 🗷 🧧 🎑 🖄	😇 😇 🖭 📗	٥		000		
ヘルプを表示するには [F1] を押し	てください。			<b>B</b>	1/ 1ページ	USRPAT90.UPT	

認識結果の「TEXT」ウインドウに罫線を含むイメージが表示されます。

ここでは文字の修正を行うことは出来ますが、罫線、列幅、行幅の修正を行うことは 出来ません。

### 9. データ転送

文字の修正が終わったらデータ転送ツールバーから EXCEL Eを選択します。 下図のように、認識結果が Excel に貼り付けられます。

	A	В	С	D	E	F	G
1	【市場調査報告】	1					
2	(単位1千台、颪万円)						
3							
4					台数前年比金額前年比		
5	液晶モニタ		2,200	275%			
6	CRTデイスプレイ		3,000	88%			
7	プリンター		6,181	135%	493,894	116%	
8		ドットマトリックス	289	91 %	34,822	93%	
9		インクジェット	4,689	145%	157,309	119%	
10		ページ	1,059	115%	170,363	119%	
11		MEP	144	138%	131,400	116%	
12	開定ディスク装置		14,510	121%			
13		3.5型未満	5,450	153%			
14		3.5型以上	9,060	107%			
15	光テイスク装置	王山寺田王山	15,360	131%			
15		再生労用型	12,800	128%			
17	()	追記" 書換空	2,500	1.46%	70.41.0	1.0.4K	
18	1X=2X+Y)	フラット べっち	2,377	150K	72,413	1.59%	
19		シートフィード	2,200	206	5 266	746	
20		フィルオ	04	50M	5,300	07%	
20	OCR	Z-1774	141	84%	15.609	117%	
23	0.011	デバイスタイプ	9	141%	13,535	125%	
24		・ノフトウェアタイプ	132	82%	2.074	84%	
25							
26	*イメージスキャナは輸出を含む						
27							
28							
29	台数前年比						
30							
31							
32	OCR						
33							
34	光ディスク装置						
35							
36	プリンタ						
37							
38	液晶モニタ			-			
39					300%		
40							
42							
-16							

表の形はある程度再現しますが、元の原稿と全く同じにはなりません。 文字数によってセルが大きく広がってしまいます。

罫線や位置の修正は Excel に貼り付け後、改めて行ってください。

データ転送は、環境設定の設定に従い転送されます。 罫線を再現したくない場合、数値を文字列ではなく数値として貼り付けたい場合 など、転送前に各項目の設定を変更しておきましょう。 ※「ツール」→「環境設定」を開き「データ転送」で設定が可能です。

### 作業例1. 罫線のない表の認識

罫線の入っている表の認識はできましたが、今度は罫線の入っていない表で認識作業を

行ってみましょ**う**。

ここでは例として右図のような 表を使って認識を行ってみま す。

2002年月別出荷履歴 (単位:百台) 11月 10584 84 100 944 81 79 90 90 90 86 85 86 88 877 75 73 71 71 79 81 71 73 75 75 81  $\begin{array}{c} 81\\79\\79\\79\\77\\77\\77\\77\\77\\75\\75\end{array}$ 73 75 77 77 77 77 77 77 83 7983 81 83 77 85 85  $\begin{array}{r} 888 \\ 877 \\ 773 \\ 73 \\ 71 \\ 711 \\ 711 \\ 713 \\ 733 \\ 777 \\ 799 \\ 797 \\ 777$  777 \\ 777 \\ 777 777 777 79 79 79 79 77 75 77 91 99 99 99 105 105 73 56 85 83 73 73 73 75 75 - 81 81 81 81 81 81 83 - 85 86 85 85777775557777981807979 - 7777777775 - 7373 83 - 75 75 75 75 75 75 75 9 101112 13 14 15 16 17 18 19 20122 23 4 25 26 27 28 29 31  $\begin{array}{r} - \\ 83 \\ 99 \\ 99 \\ 99 \\ 80 \\ 81 \\ 81 \\ 81 \\ 79 \\ - \\ 77 \\ 73 \\ 73 \\ 73 \\ 73 \\ 73 \end{array}$ 83 81 -107 107 107 103 102 96 -88 86 84 81 81 79 75 77 77 81 81 79 79 79 77 77 77 75 73 - 75 73 73 75 75 75 73 73 77 73 77 79 17 77 77 77 71 -71 73 77 85 90 944  $\begin{array}{c}
 1 \\
 75 \\
 75 \\
 75 \\
 75 \\
 75 \\
 75 \\
 71 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\
 73 \\$ - 73 73 73 73 73 75 75 105 109 -83 109 105 83 73 86 平均帧 79.2 70.3 66.9 165.5 98.2 69.7 7373 64.6 74.9 72.5 1/2 🤭 🔎 🔾 範囲設定 • E L I L I I L L L

L

0.0

表原稿の場合、罫線が入ってい る部分は自動的に「表領域」と して判断されますが、罫線の入 っていない表の場合には右図を みて分かる様に「表領域」とし て判断ができず「文章領域」と 判断されてしまいます。



※上図のように「文章領域」として細かく分割されてレイアウト枠が作成された場合には、間違って作成されたレイアウト枠を一つずつ修正するのは手間が掛かりますので、 作成された枠を一旦全て削除して作り直しましょう。レイアウト枠を全て削除するには「レイアウト取消」 端ボタンを使用します。

L

н

L

L

											11	
	1.1	2.8	3.8	-4.1	5.0	6.1	2.0	871	9.11	14.9	11.5	121
1	- 91			- 88	105	76	- 71	- 73	- 38	- 81.		11
2	84	81	79	-90	100	79	71	73	3.6	- 81.	81	- 77
8	84	63	- 79	-90	944	81	78	76	35	- 83	79	- 77
4		85	79	-90	88	81		22	32	- 81.	79	-77
5	91	85	79	-90	85	83	78	22	37	79	79	77
6	99	85	79	-86	77	77	73	22		- 81.	77	77
1	99	83	37	85	77		73	22	81	-81	77	79
8	99			85	73	77	7.5	11	51	29	79	11
2	105	83	75	85	73	77	75		51	79	77	11
10	105	83	75	85		77	75	83	81	77	77	77
11		61	75	83	71	75		50	81		77	11
12	197	61	75	77	71	75	75	56	63	79	75	11
13	197	61	75	2.5	71	75	11	92		- 81	75	- 77
14	197	79	35	2.3	71	77	77	- 96	85	85		- 77
t.S	183	79		21.	71	77		- 98	86	- 86	76	- 77
16	192	79	3.5	- 71.	71	79	11	98	86	- 83	77	76
17	96	22	32			81	11	86	85	79	75	75
18		22	23	71.	73	80	11	83	85	79	77	75
19	88	22	23		73	79		81		79	77	77
20	86	75	35	71	75	79	75	83	81	29	77	77
21	114	73	75	7.3	77		75	512	79	77	77	79
22	81		75	77	79	77	75	79	79		79	77
23	151	72	23	85	79	11	75	_	61	79	79	79
24	79	23	23	20	79	11	TB	22	63	79	79	79
25	_	22	77	944	77	TT	TD.	38	63	29	79	79
26	79	22	37		77	11	18	22	83	29	79	11
27	79	3.9	- 79	105	77	76	71	23	83	29	79	79
28	759	2.9		109	77		18	2.3	83	29	79	79
29	79		83	109	77	73	78	23	83	79	77	79
30	79		83	105	77	73	73		81	79	77	79
31	81		86				73	73		- 81,		79

左のように上2つの枠を作成後、次の ように設定を行います。 画面右上に表示されている属性ツー ルバーを下図のように設定します。



この状態で、表の部分を範囲設定して ください。

表の部分を範囲指定すると、自動的に レイアウト解析が行われ、左図のよう に表領域として設定できました。

										- 0	101 101	5
	1.4	2.0	3.0	411	5.0	6.11	2.0	671	9.0	11.7	11.25	121
1	-91		-	-88	105	76	÷1	73.	28	-81		77
2	84	81	29	-90	100	79	- 71	22	38	- 81.	-18	77
8	84	83	29	90	944	81	78	76	36	-83	79	77
4	-	85	79	90	88	81	-	22	35	-81	79	77
8	91	85	79	-90	85	83	78	22	37	79	79	77
6	99	85	29	-86	77	77	73	22		-81	77	77
1	99	83	37	85	77	-	73	22	81	-81	77	79
8	99	-	-	86	73	77	73	37	81	- 29	79	77
9	105	83	22	86	73	77	75		51	79	77	77
10	185	82	75	86		77	75	82	51	77	77	77
11	-	81	75	83	71	75		50	81	-	77	77
12	197	<u>81</u>	75	77	71	75	75	58	83	79	75	77
13	197	81	28	25	71	75	11	92		-81	75	77
14	197	79	38	23	71	77	11	96	85	85		77
15	183	79	-	71.	71	77		98	88	86	76	- 77
16	192	79	3.8	71	71	79	77	92	86	-83	77	76
17	96	22	38	-	-	81	77	86	85	- 79	76	75
18	-	22	23	71.	73	80	77	83	85	- 79	77	75
19	88	37	23	-	73	79	-	81		- 29	77	77
20	86	75	22	71.	75	79	75	83	51	- 29	77	77
21	114	73	22	73	77		75	512	79	77	77	79
22	15		75	77	79	77	75	79	79		79	77
23	81	72	73	85	79	77	75	-	81	79	79	79
24	79	72	73	-90	79	77	75	37	83	29	79	79
25	-	72	37	944	77	77	75	75	63	29	79	79
26	79	53	32	-	77	77	78	52	63	29	79	11
27	79	75	29	106	77	76	<u>î1</u>	73	63	29	79	79
28	79	75	-	109	77	-	78	73.	63	29	79	79
29	79		83	109	77	73	78	73.	83	29	77	79
30	79		83	105	77	73	73	-	81	- 79	77	79
31	81		86		-		73	23		-81		719

原稿によっては自動的にデータ区切り線が入らないものもあります。 そのような場合には、セパレータ挿入 <br/>
言 ツールを使って、データ区切り位置に線を引い<br/>
てください。

セパレータの挿入が終わりましたら範囲設定ボタン []]をクリックし認識します。

	1月	2月	3月	4月	5)
1	91			8 8	1 (
2	84	8 1	79	90	10
3	84	83	79	90	94
4	_	85	79	90	8
5	9 1	85	79	90	8
6	99	85	79	86	7
7	99	83	77	85	7
8	99	_		86	7
9	105	83	75	86	7
10	105	83	75	86	
11	_	8 1	75	83	7
12	107	8 1	75	77	7
13	107	8 1	75	75	7

認識結果を見ると、データ区切り線の引かれた位置に左図のような薄い線が入ります。

Excelに転送を行うと、次のようになります。

	A	в	С	D	E	F	G	Н	1	J	K	L	M
1	2002年月別出荷履歴												
2	(単位・百台)												
3		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
4	1	91	-	-	88	105	75	71	73	75	81	-	77
5	2	84	81	79	90	1 00	79	71	73	75	81	81	77
6	3	84	83	79	90	944	81	73	75	75	83	79	77
7	4	-	85	79	90	88	81	-	77	75	81	79	77
8	5	91	85	79	90	85	83	73	77	77	79	79	77
9	6	99	85	79	86	77	77	73	77	-	81	77	77
10	7	99	83	77	85	77	-	73	77	81	81	77	79
11	8	99	-	-	86	73	77	73	77	81	79	79	77
12	9	105	83	75	86	73	77	75	-	81	79	77	77
13	10	105	83	75	86	-	77	75	83	81	77	77	77
14	I	-	81	75	83	71	75	-	90	81	-	77	77
15	12	107	81	75	77	71	75	75	98	83	79	75	77
16	13	107	81	75	75	71	75	77	92	-	81	75	77
17	14	107	79	75	73	71	77	77	96	85	85	-	77
18	15	103	79	-	71	71	77	-	98	86	86	75	77
19	16	102	79	75	71	71	79	77	92	86	83	77	75
20	17	96	77	75	-	-	81	77	86	85	79	75	75
21	18	-	77	73	71	73	80	77	83	85	79	77	75
22	19	88	77	73	-	73	79	-	81	-	79	77	77
23	20	86	75	75	71	75	79	75	81	81	79	77	77
24	21	84	73	75	73	77	-	75	81	79	77	77	79
25	22	81	-	75	77	79	77	75	79	79	-	79	77
26	23	81	73	73	85	79	77	75	-	81	79	79	79
27	24	79	73	73	90	79	77	75	77	83	79	79	79
28	25	-	73	77	944	77	77	75	75	83	79	79	79
29	26	79	73	77	-	77	77	73	73	83	79	79	77
30	27	79	75	79	105	77	75	71	73	83	79	79	79
31	28	79	75	-	1 09	77	-	73	73	83	79	79	79
32	29	79		83	1 09	77	73	73	73	83	79	77	79
33	30	79		83	1 05	77	73	73	-	81	79	77	79
34	31	81		86		-		73	73		81		79
35	平均值	79.2	70.3	66.9	165.5	98.2	69.7	64.6	73	73	74.9	72.5	77.5

Word に転送を行うと、次のようになります。

										1	#491 · B-87	
1	19 a	2月 -	\$ <b>H</b>	49	5 <b>H</b> - 1	6 <b>H</b> -	<b>ГЯ</b> - 1	8 <b>.</b> 9	9 <b>/</b> 1 - 1	10月 🗤	114.1	12月
.1	9L-1	1	1	<b>88</b> .1	L96-1	<b>70</b> -1	7L-1	1. <b>67</b>	<b>70</b> -1	BL a	1	<u>π</u> .,
.1	<b>84</b> .1	BL a	79.1	<b>99</b> -1	L99-1	79-1	7L-1	73-1	76-1	BL 1	BL .1	11.1
k.i	<b>84</b> -1	83-1	79.1	<b>99</b> -1	9 <b>44</b> -1	BLin	<b>73</b> -1	76-1	7 <b>6</b> -1	<b>83</b> .1	79.1	<u>π</u> .,
.1	1	<b>86</b> -1	79.1	<b>99</b> -1	<b>68</b> -1	BLin	1	<b>17</b> -1	7 <b>6</b> -1	BL 1	79.1	<u>π</u> .,
<b>i</b> .1	91 - 1	<b>86</b> -1	79.1	<b>99</b> -1	<b>85</b> -1	B3-1	<b>ت</b> ه،	<b>17</b> -1	<b>11</b> -1	79.1	79.1	<u>π</u> .,
).1	<b>99</b> -1	<b>86</b> -1	79.1	<b>80</b> .1	<b>17</b> -1	<b>17</b> -1	<b>ت</b> ه،	<b>17</b> -1	1	BL in	<b>17</b> -1	<u>π</u> .,
.1	<b>99</b> -1	83.1	<u>π.</u> ,	85.1	$\pi_{2}$	1	<b>73</b> -1	<b>77</b> -1	BLa	BL -1	<u>π.</u> ,	79.1
k.1	<b>99</b> -1	<b>-</b> .1	1	8 <b>0</b> .1	19-1 1	Π·1	73-1	<b>77</b> -1	BLa	79.1	79.1	TT-1
£.1	196-1	<b>83</b> -1	<b>70</b> -1	8 <b>0</b> .1	19-1 1	<u>π.</u> ,	<b>70</b> -1	1	BLo	<b>79</b> .1	<u>17-1</u>	<u>π</u> .1
Q.1	196-1	B3-1	76-1	<b>80</b> .1	1	<b>17</b> -1	<b>70</b> -1	<b>B3</b> -1	BLo	<b>Π</b> -1	TT-1	<u>π</u> .,
.1	-	BL	7T	8 <b>3</b>	71	76	-	99	BL	-	π	π
<u>Z</u> .1	197-1	BL a	7 <b>75</b> -1	<u>π.</u> ,	7L-1	<b>70</b> -1	<b>70</b> -1	<b>98</b> -1	8 <b>3</b> -1	<b>79</b> -1	76-1	<u>11</u> -1
<b>3</b> -1	197-1	BLa	76-1	76-1	71.1	76-1	$\pi_{2}$	92.1	1	BL 1	76-1	<b>17</b> -1
4.1	197-1	79.1	76-1	73-1	7L-1	<u>π.</u> 1	TT-1	<b>90</b> .1	86-1	85.1	1	<u>π</u> .,
<b>5</b> -1	199-1	<b>79</b> -1	<b>-</b> .1	7L-1	7L-1	<u>11</u> -1	<b>-</b> .1	<b>98</b> -1	88.s	<b>88</b> .1	76-1	<u>77</u> -1
<b>Q</b> .1	192-1	<b>79</b> -1	7 <b>7</b> -1	7L-1	7L-1	79-1	$\pi_{2}$	92.1	88.s	83.1	<b>17</b> -1	776-1
7-1	9 <b>0</b> .1	<b>11</b> -1	76-1	1	1	BLa	<b>17</b> -1	<b>80</b> .1	86-1	79.1	76-1	76-1
<b>B</b> -1	1	<u>11</u> -1	73-1	7L-1	<b>73</b> -1	<b>89</b> -1	$\pi_{2}$	83.1	86-1	79.1	TT-1	76-1
<b>9</b> .1	88.1	<u>11</u> -1	7 <b>3</b> -1	<b>-</b> .1	19-1 1	79-1	1	BL 1	<b>-</b> .1	79.1	<b>17</b> -1	<u>77</u> -1
<b>7</b> -1	8 <b>0</b> .1	7 <b>6</b> -1	76-1	71.1	<b>776</b> -1	79-1	776-1	BL 1	BLo	79.1	<u>17</u> -1	<u>77</u> -1
.1	<b>84</b> .1	7 <b>3</b> -1	76-1	7 <b>3</b> -1	<u>17</u> -1	1	70-1	BLin	79.1	<u>π.</u> ,	TT-1	79.1
<b>Z</b> .1	BLin	1	75-1	<u>11-1</u>	79.1	<u>11</u> -1	76-1	79.1	79.1	1	79.1	<u>17</u> -1
<b>J</b> .1	BL -1	73-1	7 <b>3</b> -1	86-1	79-1	<u>11</u> -1	<b>70</b> -1	1	BLo	79.1	79.1	79.1
4.1	79.1	73-1	7 <b>3</b> -1	<b>99</b> -1	79-1	<b>17</b> -1	<b>70</b> -1	<b>17</b> -1	83. ı	79.1	79.1	79.1
<b>5</b> .1	1	73-1	<u>17</u> -1	<b>944</b> -1	<u>17</u> -1	<u>11</u> -1	776-1	76-1	B3-1	79.1	79.1	79.1
<b>Ŗ</b> .1	79.1	<b>73</b> -1	<u>11-1</u>	1	$\pi_{2}$	<u>11</u> -1	7 <b>7</b> -1	73-1	83.1	79.1	79.1	$\pi_{2}$
7.1	79.1	76-1	79.1	195-1	<u>17</u> -1	76-1	7L-1	<b>73</b> -1	8 <b>3</b> .1	79.1	79-1	79.1
<b>B</b> .1	79.1	<b>70</b> -1	1	L99-1	<u>17-1</u>	1	<b>7</b> ₽-1	73-1	B3-1	79.1	79.1	79.1
<b>9</b> .1	79.1	.1	83.1	L99-1	<u>17</u> -1	73-1	73-1	73-1	8 <b>3</b> .1	79.1	<u>17</u> -1	79.1
<b>Ю</b> .1	79.1	.1	<b>B3</b> .1	L95-1	<u>17</u> -1	73-1	73-1	1	BL .1	79.1	<u>17</u> -1	79.1
H.n	BL a	.1	8 <b>8</b> .1	.1	1	.1	7 <b>7</b> -1	<b>73</b> -1	.1	BL .1	.1	79.1

### 作業例2.少し複雑な表の認識

簡単な表原稿の認識は出来ましたが、次は少し複雑な原稿で認識作業を行ってみましょ う。

ここでは例として右図のような原稿 で作業を行ってみましょう。

EN	GI	NEE	RI	NG	SH	EE	Т	= 1	1		13	15					1
м	ħ				山田市	<b>8 #</b> 8	4.K.I	tr kt.					E Z		-		4
А	8				54	mp la	原稿		_	_			E		E		
鶗	4.					009.2	it.			_			0.000 0.000 0.000	NAN NAN NAN	18. 17.	11.0 11.0	21 回新 10 直日
用ご覧た)	でき れま 確を 。 をソ	るデジタ でパソ: 違いり :れと反 フトで計	1 ルの3 3 ンのり ミビート 対方向	(字コー (フト) (で実行 の、人	- Fic として 守する (例に)	変換 免膜 とい とって	する して う て得意	抽描: 素た: 人間: はな分	です。 (例) にとっ の例	ま. って ある	決っ 単れ い (	た7 140 T ター	ルゴ (不明 ン部)	リス 潮な 新し	(山 (部 文明	の計 分で F語1	洋した
				:0 890	CR12:	7 - 1		-									
		it.		:のか) 発	0893		ev,					<u><u><u></u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>		1			
	R.	進展用		.01 <sup>60</sup>	0893		1	1					1.00.0		200	3.0	4.21
0		進展用考用		.0 <i>1</i> /0			1	}				<u><u><u></u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>	1.00		200	23.0 約7	4.21
	来费钱	進展用		·0 m	0877		1	•				先 11 1	- att. 01		200	2.0 約7	4.21
	<b> <del> </del></b>	進展用		.のが9 発			1	7				先 11 1	1 aft A		200	0.0 約7	4.21

このような原稿の場合、レイアウト枠は大きな一つの表として判断されます。 そのまま認識を行ってもよいのですが、手動で枠を分割して設定した方がデータ転送の 結果はよくなります。

EN	GII	NEE	RI	NC	: 8	н	ΕE	т	89		10-3	5				1.0
							***	it e	e.	-	-				•	*
										_	_	_		_	_	
*	-16				_	San	a la B	8 HK				_	-		_	
新名 000kとは 5000000000000000000000000000000000000																
007 8	t (ipt	icali Ba≱≵	hari Lt:3	ecter (* 8	Rece 4.1	pnit (;	tion. 53.4	1- 5-05	-5-	アール って詳	1. A 142	(学) (型)	t中国 コン	) () ビュ	とは. 	.≇ ##
	***	@Q4	1.0	***		rie II		F 2.4		e						- 11
-	1.20	dur	Left.	127	h.b.l				8.00 V	Hit.	18-s	*	e a -1	11.2	(LD	14 W
		2001 A 2	10		in an t	1.1.1	hand to		a Mart	k n.T	**	14.1		***	-	17 L
100	ac.	1.0		- F 12		- 44	6 a . 3	r. 1	A POINT	1.01	- e 8-	18.2	1.14		- 10-77 - 10-17	
				George 1	1.00	he he	1.00								A.7 8	
<u>ج</u>	: 21 877	100	时方1  厳し	<b>向の、</b> たの	人間	にと ソフ	57	<b>得意</b> す.	- <b>4</b> .94 B		8× 0)	9-	>結業			
<del>م</del> . ۲	£97	100	d751  渡し	前の、 たの	人間	12 17 17	:95 177	<b>得意</b> 十.			1 × 1	9-	>18.8			
7. 21	£ 177		d751	前の、 たの 業	人間 64903	12 12 12	92	<b>濟堂</b> 十.				<b>步</b>	2488			
	8 9 1 1 1 1 1	10 K	1751	申め、 たの 兼	人間 (#903)	12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	92	<b>清意</b> 古.				ž.	×4.0		2903	64.21
	8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	a 上 で 調 表 用	(方)(液し)	申め、 たの 兼	人間 (#aca	12 12 12	97	<b>侍堂</b>	U II R			£	×60 1 10		2903 #1	64. 21 末
	8 9 9 1 8	▲ 用 計 用	村方11 (液し	前の. .たの 業	人間 (Kaca	12 12 12	97 17	<b>得意</b> 17				*	×4.0		2903 #1	64. 21 末
	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	き 一根	(方)(液)(液)((液)((液)((液)((液)((液)((液)((液)((液	前の. たの 業	人間 (682)	12 12 12	97	<b>得意</b> 7:	- U H R			*	×40		2903 81	04.21 *

この表の場合、真ん中部分が他と比べて非常 にシンプルになっていますので、左図のよう に上段と中段、そして下段の3つの範囲に分 けて枠を設定するとよいでしょう。

※全ての枠を「表領域」と設定してください。

### 認識結果をデータ転送で「Excel」に貼り付けると下図のようになります。 (セルの幅、高さは変更してあります)

	A	В	С	D	E	F	G
1		ENG曹NEE縫罄NGSHEET	番号	MDD-315			
2						1/1	
3	納先	山田商亊株式会社			訂正回数	日付	
4					1		
5					2		
6	品名	Sample原稿			3		
7	題名	ocret				この資料及びこの資料に 基づく技術情報 などの出力を転写、第三 者へ公表しない ようお願い墜す・.	
8							
9	OCR(Optic	alCharacterRecognition、オーシ	ーアー	・ル、光学文:	字認識)とは	、手	
10	書きや印刷	された文字を、イメージスキャナ	りこよっ	て読みとり、	コンピュータ	われ	
11	用できるデ	ジタルの文字コードに変換する	技術で	す。			
12	これまでパ	ソコンのソフトとして発展して来;	た分野日	は、決ったア	ルゴリズム(	の計算	
13	処理を、速	いスピートで実行するという、人	間にと	ってきわめて	不得意な部	分でし	
14	た。これとな	2対方向の、人間にとつ(待意な 専門したのが00000にたます	(分野(	:めタハダー.	ノ認識文学	認識	
15	NSALCE	実現したのかOCRケノトです。					
17	EE:2			翌行失			
17	□丞訒田			元11九		作式口	2002 04 21
10	口券委田					1FA8日 	2003、04.21 给士
19	■検討田					12 =	317/14
20	- 限約用						
21	ᆸᄤᇔᇭ			疢			
22				汪			
23							

Excel ではなく Word にデータ転送を行うと下図のようになります。

パ焼     山田病事焼式会社     レバ       パ焼     山田病事焼式会社     「丁正野葱<日水       小田病事焼式会社     「丁正野葱<日水       小田病事焼式会社     「丁二野葱<日水       小田病事焼式会社     「丁二野葱<日水       小田病事焼式会社     「丁二野葱<日水       小田病事焼式会社     「丁二野葱<日水       小田病事焼式会社     「丁二野葱<日水       小田病事焼式会社     「丁二野葱<日水       小田病事焼式 ままったの時にまべく説明した。     「丁二野菜(上菜へ会社会社)       小田病事売売     「丁二丁二 ラ が利」。       小田点     「丁二丁二 ラ が利」。       小田点     「丁二丁二 ラ が利」。       小田点     「丁二丁二 フ ジーマール、光早文洋露酔とは、手。       「花 古 「ジー」 シス キャナによって焼きたの野くは、チュ     「「丁二丁 二 ラ か何」。       小田点     「丁二丁 二 ラ か何」。       小田点     「丁二丁 二 ラ か何」。       小田点     「丁二丁 二 ラ か何」。       小田点     「「二丁 二 二 二 二 」 」 「「「「「「」」」」       小田点     「「二丁 二 二 二 二 」 」 「「「「「」」」       小田点     「「二丁 二 二 二 二 」 」 」 」 」 」       小田点     「二丁 二 二 二 二 二 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」       小田点     「二丁 二 二 二 二 二 二 二 二 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」				æ		좋옷	<b>KDD-</b> 316					
地画像事務式条社         町正田敷         日井           2         1         1         1           2         2         2         1         1           3         1         1         1         1         1           3         2         5         1         1         1         1         1           3         2         5         1								1	1/1			
小     時間       小     第       **     5       ** </th <th>光</th> <th>山田南市</th> <th>使式会社</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>可正回数</th> <th>日社</th> <th></th> <th></th> <th></th>	光	山田南市	使式会社					可正回数	日社			
名         Sound SET 第         F           名         Sound SET 第         5         Top Static Treat Treat Static Treat Static Treat Treat Static Treat Static Treat Treat Static Treat Treat Static Treat Treat Treat Treat Static Treat Treat Treat Static Treat Treat Treat Static Treat								I				
Soundary         S         Display Exc 2000 (2010)           %         X2 bt         この数はないの数はませい。まます くちんしないとう はのない こうない こうない こうない こうない こうない こうない こうない こう								r.				
など生 <ul> <li>このないよしないたかであったができべんが何間 とからかきないためであったかいたまべくなが何日 のとからからないためであったかいたまで、そうないた のとからからないためであったかいたまで、そうないた ののたちかであったかいたまで、そうないた ののたちかであったかいたまで、そうないたまで、 ののたちかであったかいたまで、 ののたちかであったかいたまで、 ののたちかでは、ままず、 ののたちかののたまで、 ののたちかで、 ののたちかで、 ののたちかののたまで、 ののたちかで、 ののたちかののたまで、 ののかので、 ののので、 ののかので、 ののかので、 ののかので、 ののかので、 ののので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 ので、 ので、 ので、</li></ul>	\$	Sanola	<b>#</b>					3				_
R Toxida University House State St	*	NCT 7 FF							この強勢症が などの出れた とうに続い際	この強勢に当 朝廷、撤回創 沈		10 U U
#22 ***********************************	प्स 😡	nticalCh	aractar	<u>comiti</u>	ぬいオーシュ	-アール.	光学文学师	(離)とは、	<b>.₽</b> .1			
Rできるデジタルの22ギコードに変換する技術です。	Ě 눈 /	や印刷さ	れた文明	Sを、イ	メージスキ	やナによ	って読み	とり、コ	ンピュー	タが利っ		
<ul> <li>:れまでパソコンのソフトとして発展して来た分野は、狭ったアルゴリズムの對体・</li> <li>:現を、違いスピードで運行するという、人間にとってをわめて干得着な振分でし。</li> <li>:これと反好方向の、人間にとって得着な分野であるパターン発発した半距離。</li> <li>をソフトで運用したのがの取ソフトです。。</li> <li>※取用 一 一 一 1000 000 000 000 000 000 000 000</li></ul>	]70€	るデジタ	リルの文津	*⊐ — K ß	変換する技	新です。	1					_
9월で、違いスピードで進行するという、人間にとってきわめて干得能な類分でし。 ここれと反好方向の、人間にとって得能な分野であるパターン器能(定半器離。 をソフトで運営したのがOVRソフトです。。 薄膜周	nŧ	สตภาษอ	כעמינו	いとして	(発展して来	た分野は、	狭ったア	ルゴリズ	ムの計算。			
ここれと反対方向の、人間にとって再参な分野であるパターン器像(定半器像)、           をソフトで実現したのがPARソフトです。。           強点         3           確認         3           環路周         単統印           1200月月         3           3         3           1200月月         3           1320月         3           1320月         3           1320月         3	壁を	と、違い7	(B-F4	漢行する	5という、人	തില്പം.	てきわめて	下得意なき	解分でしょ			
を い う た の が の な 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の		れと反応	↑方向の、	人間にと	いて得意な	(分野であ)	3パターン	冤 <b>離</b> 〔文津				
(金) 「 General Classification AR 9 ) 「 C 9 、 1 (金) 「 G 9 、 1 ( 5 、 1 ) 「 C 9 、 1 ( 5 、 1 ) 「 C 9 、 1 ( 5 、 1 ) 「 C 9 、 1 ( 5 、 1 ) 「 C 9 、 1 ( 5 ⋅ 1 ) 「 C 9 、 1 ( 5 ⋅ 1 ) □ [ 1 ] □ [ 1	<b>6</b> -11-5											
<ul> <li>途: 3 3 為行先: 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3</li></ul>		JE Gæ	親したの	መ <b>ር</b> ዌ ሃር	)r 69. 4							
<ul> <li>320.1 5.1 時行先。</li> <li>33.1 時行先。</li> <li>34.1 (10.5, 0.4.2)</li> <li>35.2 (10.5, 0.4.2)</li></ul>		Jr eæ	見したの	moraty t	)r 69. 4							
3途		Jreæ	<b>れ</b> したの	Morae y I	)r 09. 4							
<ul> <li>独立 コ 所行充っ</li> <li>第月方元っ</li> <li>第月前 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日</li></ul>		Jreæ	見したの	Morae y C	)r 69. a							
3金.4 A A M行先。 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		Jreæ	呪したの	Morae y C	/r (9. 4							
3223.5 3.5 3.5 3.5 3.5 3.5 3.5 3.5 3.5 3.5		Jreæ	見したの	More o d	) F C9. 4							
<ul> <li>独立 コ 所行充っ</li> <li>第月方 コ 所行充っ</li> <li>第月 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</li></ul>		Jreæ	見したの	More o d	) F C91							
3金		Jree	見したの	900GR 9 3	1.61.4							
B金 4 4 5 時行先 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		Jrea	見したの	900GR 9 3	)r G <b>s.</b> a							
<ul> <li>第金・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>		Jrea	見したの	900GR Y I	)r (3 <b>.</b> -							
322.0 0.1 MATES ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL AL			親しため	MOGR 9 3	J <b>r</b> ₫ <b>s.</b> a							
B22-3 A A M行先A A A A A A A A A A A A A A A A A A A			認したの	мося у :	J <b>r</b> @ <b>f</b> . ∧							
<ul> <li>3 3 路行先。</li> <li>3 3 路行先。</li> <li>3 4 2005 042</li> <li>3 5 2005 0</li></ul>			<b>2</b> 170	мося у :	J <b>r</b> @ <b>f</b> ₁							
2223 A A A A A A A A A A A A A A A A A A			50 L C O	мося у :	J <b>r</b> ™g <b>s.</b> .a							
326.0 A A MATER A A A A A A A A A A A A A A A A A A A			認したの	900 <b>8</b> 9 5	9 <b>6.64.</b> 9							
			認しため	90 <b>0</b> 893	9 <b>6.64</b> . u							
1000年月日			<b>記</b> したの	1.	<b>1P C 9.</b>							
2017月10日  10日  10日  10日  10日  10日  10日  10日	月金.1		, .,		外行无。 -				1	1	.1 2003. D.	4 2
1990月1日	月金。1				<b>第行先</b> っ				-1	-1 Here B	.1 2003. 0	42
Marking a second s	月途。 1章風 ] <del>余</del> 考		.1	300GR 9 2	路行先。				-1	加速日	·1 2003, D	42
	3金。 (東風) (米風)	) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) )		-1 -1	路行先。 ·				-1	-1 神歌日 11 13	-1 2003, D 	42
	1注:2011 (東原) 1後:2011				発行先。 。				1	·1 相見 神歌日	.1 2003, 0 税本	42

右図の場合、加えた修正は位置と幅の補正のみです。

Excel、Word それぞれの結果から 判断して、この原稿の場合には Word に転送を行った方が修正し やすいと言えるでしょう。